

難波カラー濃い新年度予算案 「根拠と共感」に欠けるアリーナ建設費300億円(債務負担行為)を計上 寄せられた市民の声と願いに基づき、市長の基本姿勢と諸課題を質します

日本共産党 静岡市議会議員団 ニュース

2024 - No.4

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス http://www.jcps.jp/
メール yk5f5@jcps.jp

2月定例会 会議日程

会期：2/10～3/6 (25日間)
会場：静岡庁舎本館
開会：午前10時から

- | | |
|----------|-----------------|
| ○本会議 | ○常任委員会(当初議案等審査) |
| ○代表質問 | 2/25(火)・26(水) |
| 総括質問 | ・総務委員会 |
| 2/17(月) | ・市民環境教育委員会 |
| 2/18(火) | ・企業消防委員会 |
| 2/19(水) | 2/27(木)・28(金) |
| 2/20(木) | ・厚生委員会 |
| ○本会議(最終) | ・都市建設委員会 |
| 3/6(木) | ・観光文化経済委員会 |

※本会議(総括質問)は静岡市ホームページから視聴できます。

2月定例会が2月10日(月)から3月6日(木)の日程で開催されています。

- ◆◆◆
1. 物価高騰対策 12億880万円
昨年に続きプレミアム付デジタル商品券を発行する他、学校給食の米飯価格値上げへの対応、公的病院・中小企業等(工業用LPガス料金)・軽費老人ホームへの支援を行います。
 2. 子育て・教育環境の充実 19億9,500万円余
小中学校校舎トイレの洋式化、特別教室の空調設備整備などを実施します。
 3. 防災・減災、国土強靱化 6億9,600万円余
災害時の避難所等における生活環境の向上を図るため、トイレカーの整備やパーティションの配備を行います。また、災害発生時に自力で避難することが困難な利用者が多い高齢者施設等における防災・減災対策をすすめます。
 4. 地域経済の活性化 15億9,400万円余
旧清水西河内小学校の活用推進、農分野での茶業による碾茶炉導入及びJAしみずによる柑橘共同選果場の整備を支援します。その他、アリーナ建設に寄附金を活用するため基金を創設します。
 5. その他
桜ヶ丘病院移転地での土壌汚染対策費の一部を負担します。

難波市長による2回目の予算編成となる2025年度当初予算案は、一般会計が3,885億円と過去最大、特別会計が2,631億円余、企業会計784億円余で総額7,301億円余の規模です。市当局によれば、予算編成のポイントとして、市の人口減少が大変厳しい状況にあることを踏まえ、「安心感がある温かいまち」、「未来に夢や希望が持てるまち」という2つのまちの未来像を実現するために積極的な財政出動を行い、「子育て支援・教育の充実と健康長寿の推進」、「災害対応力の強化」、「地域経済の活性化」、「文化・スポーツを活かしたまちづくり」、「社会変革の促進」の5つの分野に予算を重点配分した、としています。

しかし、このなかには、JR東静岡駅北口でのアリーナ整備のための用地取得費11億3千万円が盛り込まれ、建設費として債務負担行為300億円が設定されています。市はアリーナ建設による33年間の経済波及効果(5,286億円)と雇用者所得誘発額(1,455億円)を強調しますが、その試算根拠は示していません。また、市民の合意もありません。このような状況で巨大なハコモノ事業であるアリーナ建設をすすめることが、市長の言う「根拠と共感に基づく」市政なのか、難波市長の政治姿勢とともに質していきます。

この他、計画が暗礁に乗り上げて海洋文化施設やPFAS問題などについても、論戦します。

是非、傍聴におでかけください。

代表質問

寺尾 昭議員

2月18日(火) 午後2時30分頃から
市政に臨む難波市長の基本姿勢を質す
就任以来難波市長は、市政を進めるにあたっては「根拠と共感」をモットーに「温かい市政」を標榜しています。アリーナな

ど大型公共施設建設の事業を進めるにあたっては、事業費の算出根拠も示さず、市民合意も得られているとは言えません。お年寄りの敬老祝い金の廃止や保健福祉センターの廃止は「冷たい市政」と言われても仕方ありません。改めて市長の基本姿勢を質します。併せて憲法と静岡市自治基本

条例に基づく市政運営を求めます。

今回は代表質問ということで、教師の長時間勤務の是正、保育士確保、学校給食の無償化、核兵器廃絶、国保、介護など市政全般について市当局と論戦します。

総括質問

市川 正議員

2月19日(水) 午後1時30分頃



1. 難聴高齢者への支援について
2024年度に試行実施した難聴高齢者の早期発見・支援事業の実施状況を確認し、それを踏まえて2025年度事業をどう進めていくのか、また、補聴器購入費助成制度を創設する考えはあるかを質します。

2. 保健福祉センターの再編について

2026年4月に各区にある複数の保健福祉センターを再編し、各区1か所とする計画がバブコメにかけられています。保健師は区役所に集約し、子ども家庭センターとの併設で母子保健と児童福祉の切れ間のない支援を行うといいますが、住民福祉の後退を心配する市民の声が多いことから再編計画見直しについて質します。

3. PFSを取り入れた介護予防について

介護予防事業にPFS(成果連動型民間委託契約方式)を取り入れた経過と成果指標をどのように設定し、支払いに連動させるのかを質します。

杉本 まもる議員

2月19日(水) 午後2時頃



1. 訪問介護事業所の支援を!
国が訪問介護報酬を2~3%引き下げたことで、全国では訪問介護事業所の倒産・廃業の危機が広がっています。静岡市の訪問介護事業所の実態はどうなっているのか、市が必要な支援を行うよう求めます。

2. バス料金を値下げし、敬老バスなど暮らしの応援を!

昨年10月、バス料金が平均16%、所によっては31%も値上げされました。物価高騰の中、多くの市民から引き下げの声があがっています。バス料金引き下げ、敬老バスなど市の支援を求めます。

3. スマホを持たない人にも買い物支援を!

市はデジタルの「しずトク商品券」事業を提案していますが、スマホを持たない人や使えない人、デジタルの環境がない事業者は蚊帳の外です。市民のだれもが利用できる「紙のクーポン券」などを合わせて活用すべきではないか、市の考えを質します。

内田りゅうすけ議員

2月20日(木) 午後2時頃



1. 清水庁舎について
市は、清水庁舎の耐震診断を専門家に依頼してきましたが、現庁舎の補強を進めるのか、新しい庁舎の建設をするのか3月以降に結論

を出す予定です。質問では、最終結論を出す場合、市民の意向を十分反映するよう求めます。

2. 敬老祝い金の廃止について

市は、新年度から80歳になったら5千円、88歳になったら1万円の敬老祝い金制度を廃止する予定です。長年、社会の発展に寄与してきた高齢者に対しあまりに冷たい対応です。撤回を求めて質問します。

その他、PFAS・海洋・地球総合ミュージアム・平和行政についても質問します。